

全日本大学対抗テニス・女子 王座決定戦4位



全日本大学対抗テニス王座決定試合が10月23日から27日まで岐阜メモリアルセンターで行われ、専大女子は4位となった。

1、2回戦を勝ち進んだ専大は準決勝で園田学園女子大と対戦し、0-5で負けてしまう。続く3位決定戦でも調子を取り戻せず亜大に1-4と惜敗した。

(幸脇健太・文2)

[11月15日/ニュース専修15面]

有意義だったカナダ遠征 合気道部主務 宮野章(商4・霧が丘高)

トロントのJCCC合気会30周年に参加 ホームステイで交流深める



私たち、体育会合気道部は9月11日から19日まで海外遠征を行い、カナダを訪問した。合気道九段の田中茂穂師範(明治神宮武道場至誠館名誉館長)をはじめ、学生16人と部長、監督、コーチ、OBの総勢24人。合気道の稽古やホームステイを通じて、カナダの人たちと交流を深めた。

今回の遠征は、トロントのJCCC(Japanese Canadian Cultural Center)合気会で合気道を教えている小幡幸先輩(昭46経営)から同会の30周年記念セミ

ナーと演舞会に招待されたことから実現した。

合気道セミナーには、トロント近辺を中心に100人以上の人たちが集まり、田中師範や小幡先輩、同行した高柳清孝先輩(昭44商・富山大合気道部師範)の指導で合同稽古を行った。合気道初心者には、部員がカタコトの英語を使ってジェスチャーを交えながら技を教えた。

JCCCの合気会の30周年記念パーティーでは、トロントの日本領事も参加する中、専修大学の校歌を歌うなど、大いに盛り上がった。それらの様子は現地のテレビでも放映された。

参加した部員からは「行ってよかった。機会があったらまた訪問したい」という感想が多く寄せられた。また、カナダの人たちの合気道に対する真剣な取り組みを見て、いちだんと情熱を注ぐ部員が増えるなど、遠征は大変有意義なものだった。主将の柴崎純次(法4・淑徳高)も「合気道の本家、日本を代表していくからには、カナダの人達に見せても恥ずかしくない演武をすることが目標だった。団結することが出来、本当に良かった」と語った。(写真・技の指導をする荻野裕之)

[11月15日/ニュース専修15面]

サーブル個人 山本、斉野が優勝 関東学生フェンシング 団体も好成績



関東学生フェンシング選手権が10月1日から6日まで、駒沢体育館で行われ、男女ともに好成績を収めた。男子団体はエペが2位、サーブル、フルーレで3位。個人ではサーブルで山本幸治主将(商4・武生商高)が優勝、エペで山下大輔(商4・武生商高)が3位。

女子はフルーレ団体で2位。個人ではサーブルで斉野純子主将(商4・鹿児島南高)が優勝、内藤絵里奈(商3・武生商高)が3位、フルーレで平田京美(経済2・羽島北高)が2位に入賞した。

フルーレで平田京美(経済2・羽島北高)が2位に入賞した。

男子の山本主将は、準決勝で中大・西脇に快勝。続く決勝の法大・大坪には前半ペースを崩されるものの、後半に自分のペースを取り戻し、勝利を飾った。

女子の斉野主将は、順調に勝ち進み、準決勝の東農大・澤田戦は確実にポイントを奪い圧勝。決勝戦でも日大・黒崎を前半から積極的に攻め、勝利した。「今後は、インカレに向けて精一杯頑張りたい」と抱負を語った。

好成績を残した両主将の自信がチームをより盛り上げていってくれるに違いない。
(写真・相手選手を追い詰める斉野=右・撮影 幸脇健太・文2)

(佐山 美貴・文2)

[11月15日/ニュース専修15面]

新人戦で松本優勝 ボディビル関東学生 選手権団体は3位

10月14日、神奈川県セレストホールでボディビルの関東学生選手権と関東新人戦が行われ、新人戦で松本智之(経済2・伊奈学園総合高)が圧倒的なバルク(筋量)で満票優勝を飾った。

学生選手権の団体戦(決勝進出者20人の得点を学校別に集計)では、3人が決勝に進み、3位の好成績を収めた。

脂肪を減らし、筋肉の美しさと筋量を競う今大会。松本はポーズにぎこちなさがあったが、厳しい減量に耐え、血管が浮き上がるほどの仕上がりで大会に臨んだ。「なるべくしてなった結果。次は学生チャンピオンを狙いたい」と自信に満ちていた。

(桃沢 薫・商3)

[11月15日/ニュース専修15面]

佐藤桂が健闘2位 関東学生フィギュアスケート

関東学生フィギュアスケート選手権が10月19、20日、東大和スポーツセンターで行われ、佐藤桂奈子(文4・駒場学園高)が2位、櫻井公貴(法1・駒場学園高)が4位と健闘した。

佐藤は、初日のショートプログラムは小さなミスもあり3位。しかし、2日目のフリープログラムでは「自分でも納得のいく演技が出来た」と言う通り、高い技術を見せ2位。「結果には満足しているが、さらに高いレベルの演技が出来るように頑張りたい」と今後の抱負を語った。

(高橋奈津子・商2)
〔11月15日/ニュース専修15面〕